

# 生存科学研究ニュース

VOL. 15. NO. 6 2000. 11. 10 発行

発行 財団法人 生存科学研究所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1  
電話 03-3563-3518 FAX 03-3567-3608  
Eメール seizon@mx1.alpha-web.ne.jp

## 第3回常務理事会報告

平成12年9月28日（木）午後2時より生存科学研究所会議室において常務理事会が開催された。

議題は

- (1) 生存科学研究所活動状況について
- (2) 平成13年度事業計画について
- (3) 役員改選について
- (4) その他について

であった。

生存科学研究所の活動状況は報告書を基にそれぞれ生存学研究会、川崎病研究会、21世紀医療システム研究会、銀座ナイトセミナー、21世紀世界の文明と生存の研究会、生存科学としてのハイエイシックスの構築、形態生存医学研究会、そして共同研究A（川崎病研究：日本川崎病研究センター）、共同研究B（レオンチェフ文庫：中央大学）、生存科学講座、生存科学ニュース、学術誌『生存科学』について報告が行われた。

平成13年度事業計画、来年度の役員改選に

についても審議が行われ、各事業責任者への事業継続希望の有無についてのお伺い、前回同様の方法による役員改選が決定された。

## 生存科学講座報告とご案内

生存科学講座委員会は「長寿社会をどう切り開くか」を平成12年度のテーマとして講演会を企画しました。第1回は、9月30日（土）、銀座教会東京福音会センターにて開催しました。「食生活と長寿」と題して徳島大学医学部栄養学科教授の山本茂氏に、また、「長寿時代の性生活」と題して原三信病院泌尿器科部長の武井実根雄氏に講演をお願いしました。

山本氏のご専門の日本の栄養問題について、「どんな食生活をすれば長生き出来るか」を中心に、アフリカ、沖縄などでの経験も例に挙げながら、分かりやすく話されました。

武井氏は、臨床医の立場から、尿失禁やインポテンツの現状、治療法などについて、図やグラフを示しながら、楽しく明るく語られ

ました。

第2回は、「病気が治るとは?」と題して、東京大学付属病院リハビリテーション科の赤居正美氏に、また、「キレイはこころを活性化する」と題してコミー株式会社研究所室長の手塚圭子氏に講演をお願いしました。

赤居氏はリハビリテーションの役割は、病気になる前の状態に戻すことではなく、新しい状況に順応して社会復帰を果たすことであり、そのための精神的・肉体的支援をすることであると話されました。

手塚氏は、キレイになるということは、見た目の問題だけでなく、心の内側から生きる意欲をかきたてる働きがあり、外側の変化が内側をも変えてしまうということを実例をあげて話されました。また、キレイとは、客観的に周囲の人が感じることだとも語られました。



第1回講座風景 (講師は山本茂氏)

第3回は11月25日(土)14時より教文館9階会議室で開催いたします。(生存科学研究所と同じビル内)

講演は、「未来はどうなるの?」と題してNHKテレビでお馴染みの迫田朋子解説委員に、「世界はどうなるの?」と題して東京大学

大学院環境学教授の柳沢幸雄氏をお願いしました。

前2回と同様、講演のあとは司会者を交えて鼎談となります。報道の現場から見える未来についてまた、世界を舞台に活躍する研究者が語る未来について、興味深いお話が聞けるのではないかと楽しみです。

今年度最後の講座となりますので、多くの方々にお聞きいただきたいと思います。

出欠の葉書を同封いたしましたので、ご記入の上11月24日までにご返送ください。

多数のご参加をお待ちしています。

#### 第2回21世紀医療システム研究会報告

21世紀医療システム研究会の研究をまとめるに当たって、江見氏(研究会代表)からまとめ方の要点が提案され、それにもとづいて議論が活発に行われた。その要点は次の通り

##### 1. 国民皆保険制度発足から40年

- (1) 40年間の実績をどう評価するか、評価できる点
- (2) 問題点

皆保険発足時から今日までの、人口、技術、社会経済的要因の変化が医療サービスの需給に与えた影響について、制度がよりよく適応してきたか。

- ① 少子・高齢化と疾病構造の変化
- ② 産業構造の高度化とサービス経済化
- ③ 経済成長と生活様式の都市化
- ④ 高度情報通信時代(IT革命)の到来

##### (3) 社会保障制度の対応

- ① 制度審1950年「勧告」から1995年

「勤告」へ「社会保障体制の再構築—安心して暮らせる21世紀社会を目指して」

②「社会保障構造のあり方について考える有識者会議」報告書

## 2. 医療保険の改革について

各種団体から示された改革の理念、枠組み、問題点等についてコメントが行われた。

A. 「医療保険制度のこれからを考える」  
(医療経済研究機構シンポジウム、平12.9.5)

社会経済の条件変化を踏まえて、改革する必要があるとの大前提に立って4人のパネラーの発言があり、そのあと相互のパネルディスカッションの要点が紹介されたが、注目される問題提起があるとはいえ、まだ抽象的レベルに止まっている、医療固有の問題に切り込んでいないこと、医療関係者と財政学者とのあいだの議論が十分かみ合った形で整理されていない、と批判された。

B. 社会保障有識者会議の報告書原案

(日経新聞、平12.9.14)

医療については、「老人医療費が経済の動向と大きく乖離しないような方策を講ずること」「資源の効率的配分の観点から、診療報酬や薬価制度のありかたを見直すべきこと」が指摘されているが、社会保障の財源問題からの視点が中心である。

C. 日本医師会の制度改革案

日本医師会が2015年時点の国民医療費を約60兆円と厚生省推計より20兆円少な

く見積った理由として、

①高齢者の医療費単価の伸びを年率0.4% (厚生省は4%) と見積もったこと

②病気の種類ごとに診療報酬を決める「定額支払い方式」を導入したこと

③終末期患者への医療行為の適正化、などを打ち出したうえで、75才以上の人を対象とした独立の高齢者医療制度を提言していることを指摘し、

それぞれ実現の可能性が活発に論じられた。

3. 江見氏は、国民医療の目的が「国民が安心して良い医療を受けられるシステムを現在から将来にわたって持続的に保障すること」にあるとして、その観点から研究結果の集約をはかりたいと述べた。

### 第3回21世紀医療システム研究会報告

今回は、2人の報告者から次のテーマについて問題提起がなされた。

1. 二木 立 21世紀初頭の社会保障改革 -3つのシナリオとその実現可能性について-
2. 向山定孝 遺伝子治療の現状と将来  
それぞれの要点は次の通りである。

1. 21世紀初頭の社会保障改革  
二木氏は、改革のシナリオとして、次の3つをあげた。

(1) アメリカ型の新自由主義的改革-市場原理・市場メカニズムに基づく改革。

(2) 厚生省が進めようとしている改革-国民皆保険・皆年金制度の大枠は維持しつつ、公的費用抑制を継続し、

公的な1階部分を越える2階部分は全額私費負担（自己負担または民間保険）とする。

(3) 社会保障費用の総枠を、ヨーロッパ並みの医療水準になるまで拡大する。

これらの3つのシナリオのうち、実現可能性の高いのは第2のシナリオであるが短期間に全面的に実施されるとは思わない、と述べた。他に「介護保険は市場原理」とする考え方の誤りが指摘された。

## 2. 遺伝子治療の現状と将来

向山氏は、厚生科学会議による「遺伝子治療臨床研究に関するガイドライン」を紹介し、その内容の要点と、研究及び審査体制を説明した。そのあと、日本における遺伝子治療研究が米国やヨーロッパに遅れており、その事例もまだ3～4例にすぎず、米国からの技術導入が当分続くこと、現在の遺伝子治療技術は安全性の点ではほぼ問題がないが、臨床効果を得るためにはまだきわめて不完全であることなどを指摘され、今後の研究体制の確立による研究促進を期待された。

以上の2つのテーマのうち前者について、活発な議論がたたかわされ、それに関連して日本医師会編『2015年医療のグランドデザイン』が取り上げられた。後者については、今後の研究の推移を見守り、改めて取り上げることとなった。

## 寄贈図書

### アヴィセンナ「医学の歌」



志田信男訳

1998年10月発行

発行所 草風館

定価 4800円

志田信男氏は銀座

ナイトセミナーのメンバー

アラビア医学の精髓。本書は中世イスラム社会で唯一に医学の聖医と崇められてきたアヴィセンナ医学の骨子であり、珠玉の詩である。欧米の訳書・注解を参照して初めて訳出された。

## 生存科学研究所

### ホームページ・Eメール開設のお知らせ

この度、生存科学研究所ではホームページを開設いたしました。アドレスは下記のとおりです。

<http://w1.alpha-web.ne.jp/seizon>

現在はまだ講座の案内のみですが、今後内容を充実させてゆきたいと思っております。ご高覧ください。

Eメールアドレスは下記のとおりです。連絡等にご利用ください。

[seizon@mx1.alpha-web.ne.jp](mailto:seizon@mx1.alpha-web.ne.jp)

## 研究所日報

9月18日（月）21世紀医療システム研究会

9月28日（木）常務理事会

9月29日（金）生存科学講座打ち合わせ

9月30日（土）生存科学講座

9月30日（土）21世紀世界の文明と生存の研究

10月16日（月）21世紀医療システム研究会

10月21日（土）生存科学講座

10月21日（土）21世紀世界の文明と生存の研究会

10月27日（金）川崎病研究会

11月8日（水）銀座ナイトセミナー

11月9日（木）3役会